

令和6年度 群馬大学共同教育学部附属中学校グランドデザイン

- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領
- ・中教審答申
- ・教育振興基本計画
- ・学校教育の指針
- ・はぴな群馬の指導プランⅡ等

《学校教育目標》

- 【共生】心豊かに互いを生かす
- 【創造】知性を高め未来を創る
- 【健康】たくましい心と体に育ち合う

- ・社会の変化や状況
- ・生徒の実態や思い
- ・保護者や地域の願い
- ・大学からの要請
- ・教育関係者の期待等

《目指す生徒像》

- 【共生】豊かな人間関係を醸成し、互いに高め合える集団を形成していく生徒
- 【創造】知識や技能を活用し、思考や表現を深めながら創造的に学び続ける生徒
- 【健康】自他の心身の健康に関心を持ち、保持増進に努める生徒

《経営の重点》

- 「実現したい未来に向けて責任をもって挑戦することができる生徒の育成」を目指す研究の推進
- エージェンシーを発揮しAARサイクルを回す探究的な学びを目指した授業改善
- 「未来創造科」を中核とした確かな学びと豊かな体験や未来指向型の実践による進路実現
- 積極的な生徒指導による生徒の自己肯定感の醸成と、学友会活動を中核とした、いじめのない学校づくりの推進
- 教員の時間外労働時間の削減とライフワークバランス確保を目指した、働き方改革の推進と労働衛生環境の改善
- 保護者や地域、学部、附属学校部、附属三校園、県教委、関係諸機関との連携

具体的な取組

【共生】

- ・弁論大会、文化祭等の学芸的行事の充実
- ・「未来創造科」を中核としたキャリア教育の充実
- ・旅行・宿泊的行事の充実(1年校外学習、2年校外学習、3年修学旅行)
- ・自治的・自発的な学友会活動の推進・充実
- ・「考え、議論する」道徳授業の充実

【創造】

- ・資質・能力の育成を目指した教科等研究の推進
- ・生徒がエージェンシーを発揮しAARサイクルを回す探究的な学びができる授業改善
- ・校内における中堅教員授業の実施や公開研究会の実施
- ・生徒1人1台タブレット端末、大型モニターを活用した授業の推進
- ・学部教員を活用した特別授業の実施

【健康】

- ・校内球技大会や体育大会の充実
- ・学校保健委員会の年2回開催
- ・生活アンケートの実施
- ・生徒支援委員会の定期開催
- ・ケース会議の実施
- ・AED、エビペン講習の実施
- ・キャリア・パスポートの活用
- ・教育相談員1名、SC1名配置による教育相談体制の充実
- ・「すこやかタイム」による保健指導

研究主題

「実現したい未来に向けて責任をもって挑戦することができる生徒の育成」
—エージェンシーを発揮しAARサイクルを回す探究的な学びを通して—

《附属学校としての役割の遂行》

- ①教育研究の充実
- ②群馬県下の中学校教育の進展に寄与する(県教委の事業、教育研究会の運営)
- ③教育実習の充実
- ④学部の3委員会(子ども総合サポート、教員養成FD、共同研究)との連携

連携

群馬大学、附属学校部、群馬県教育委員会、附属幼・小・特別支援学校

協力

《目指す学校の姿》

- ◇学びがいのある学校、働きがいのある学校
- ◇附中生徒、附中教員としての誇りを実感できる学校
- ◇内からも外からも魅力が感じられ、周囲から期待される学校